



Business Plan and Growth Potential

COPYRIGHT 2022 Cacco Inc.

かっこ株式会社 | 証券コード:4166

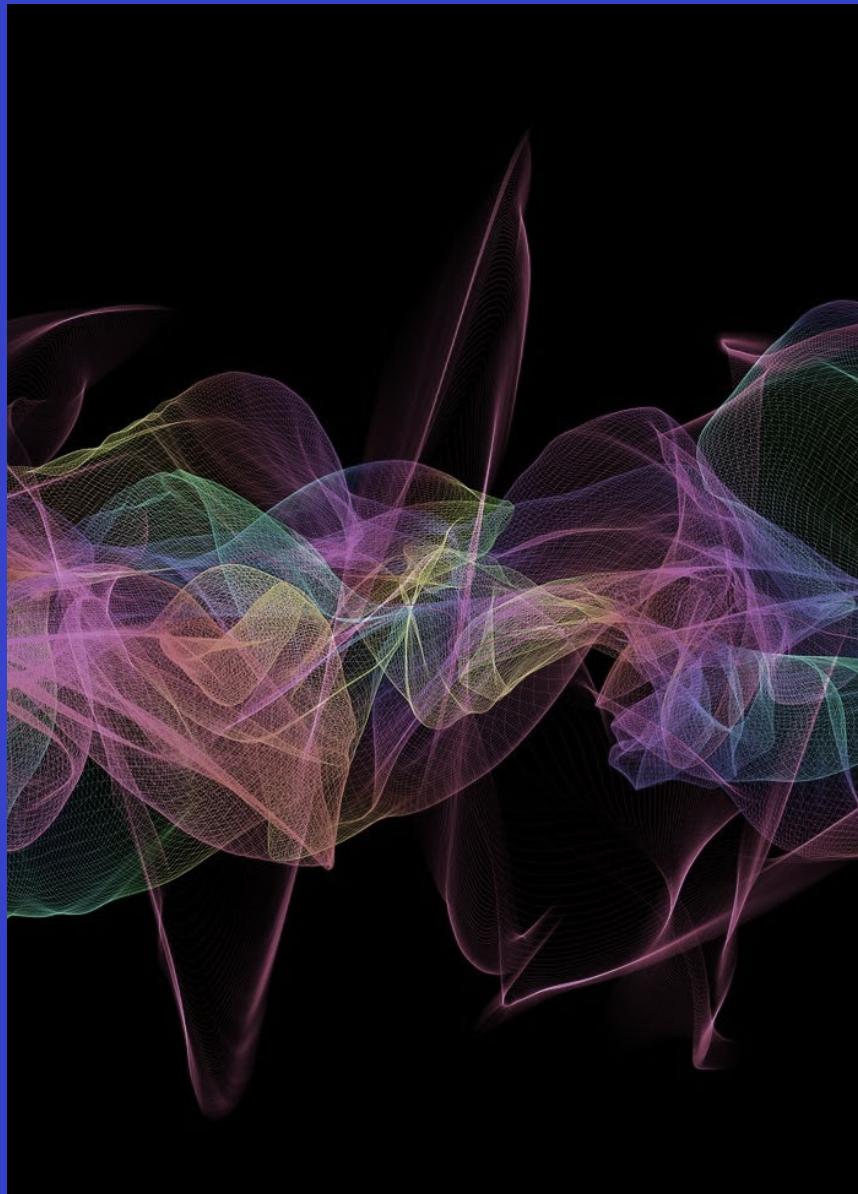
2022年3月31日

CAO{[O]

事業計画および成長可能性に関する事項

目次

- 1 会社概要
- 2 事業内容
- 3 事業の進捗及び計画
- 4 中長期の成長戦略
- 5 当社事業が属する市場の成長



会社概要

Company Overview

Cacco Evolutionary Purpose

未来のゲームチェンジャーの 「まずやってみよう」をカタチに

創業以来、すべてのサービスを発展させ続けてきた当社の原動力が、「Cacco Evolutionary Purpose」です。

日本は20年間GDPがほとんど成長しておらず、他の先進国の成長と比較すると、日本はグローバルでは相対的に貧困に近づいています。

「未来のゲームチェンジャー」を増やし、より豊かな次世代の日本社会に貢献したい。かっこは、当社の有するセキュリティ・ペイメント・データサイエンスの技術で、「未来のゲームチェンジャー」となる企業や人々のチャレンジを支援し、日本の持続的な成長に貢献していきます。



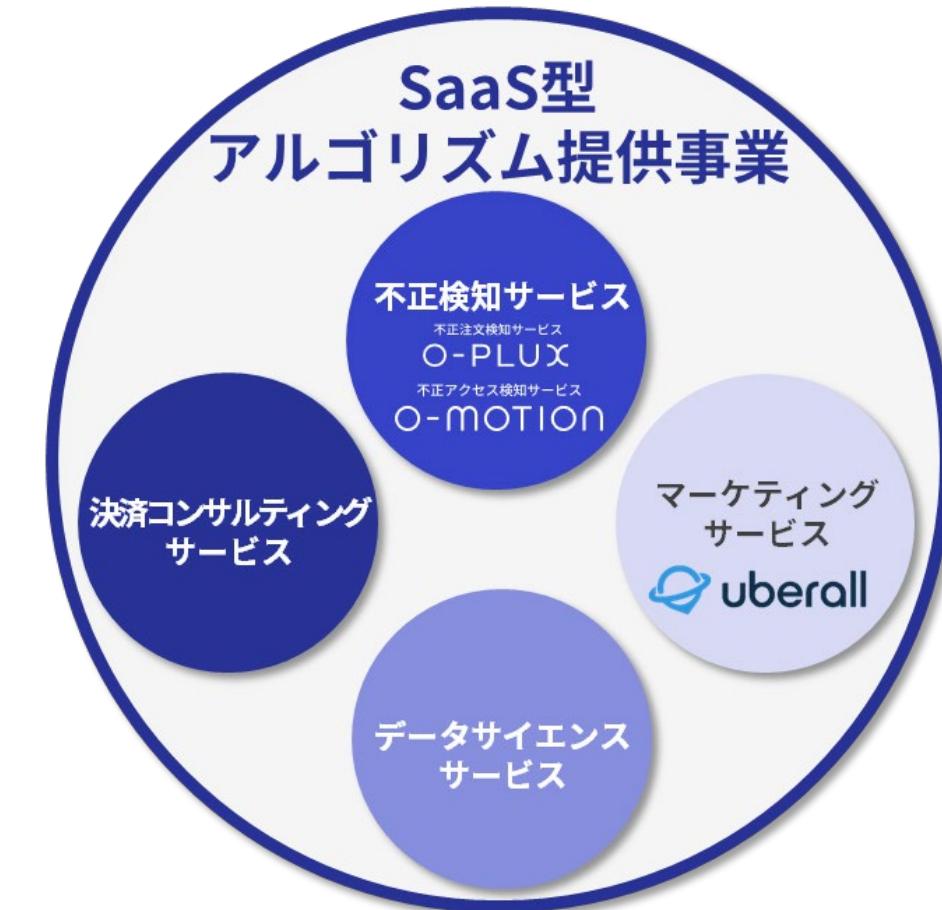
会社概要・会社基本情報



社名	<u>かっこ株式会社</u> (Cacco Inc.)
代表者	代表取締役社長CEO 岩井 裕之
事業内容	SaaS型アルゴリズム提供事業 (不正検知サービス、マーケティングサービス、決済コンサルティングサービス、データサイエンスサービス)
資本金	364,548,235円 ※2022年3月31日時点
上場市場	東京証券取引所マザーズ市場 (証券コード 4166)
設立	2011年1月28日
住所・TEL	東京都港区元赤坂一丁目 5 番31号 TEL : 03-6447-4534
特許	特許第6534255号・特許第6534256号・特許第6860156号
認証	ISMS (情報セキュリティマネジメントシステム) ISO/IEC 27001:2013 JIS Q 27001:2014 登録番号：IA120255 プライバシーマーク® 第10824248 (04) 号
持分法適用関連会社	<u>株式会社リカバリー</u> (ローカル検索マーケティングソリューション「Uberall」の日本統括代理店)

沿革

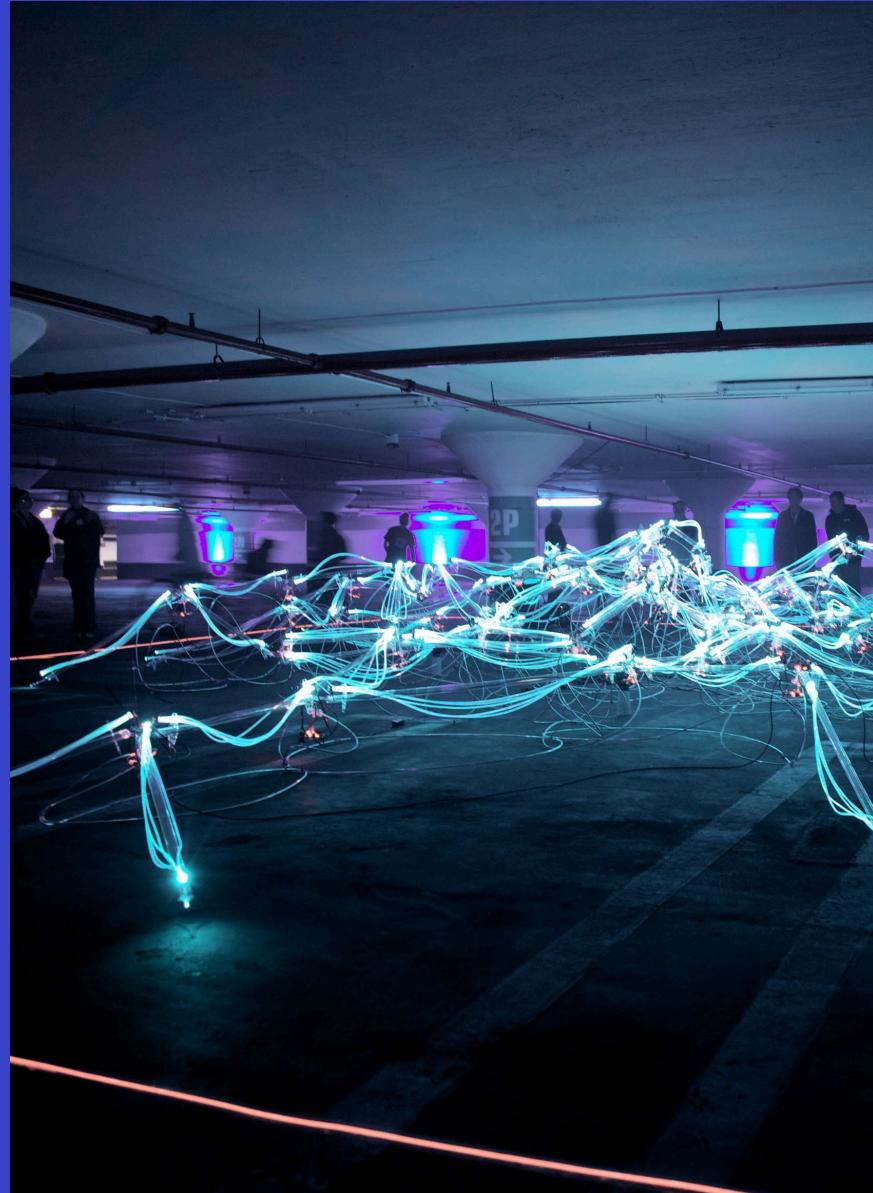
- 2011 1月 創業
(不正対策コンサルティング)
- 11月 決済コンサルティングサービス開始
(BNPL※事業者の決済システム開発・コンサルティング)
- 2012 6月 不正注文検知サービス「O-PLUX」リリース
- 2015 1月 データサイエンスサービス開始
(小売・製造業等のデータ解析・アルゴリズム開発)
- 2016 7月 不正アクセス検知サービス「O-MOTION」リリース
- 2020 12月 東証マザーズ上場
- 2021 8月 マーケティングサービスに参入
(株式会社リカバリーと資本業務提携)



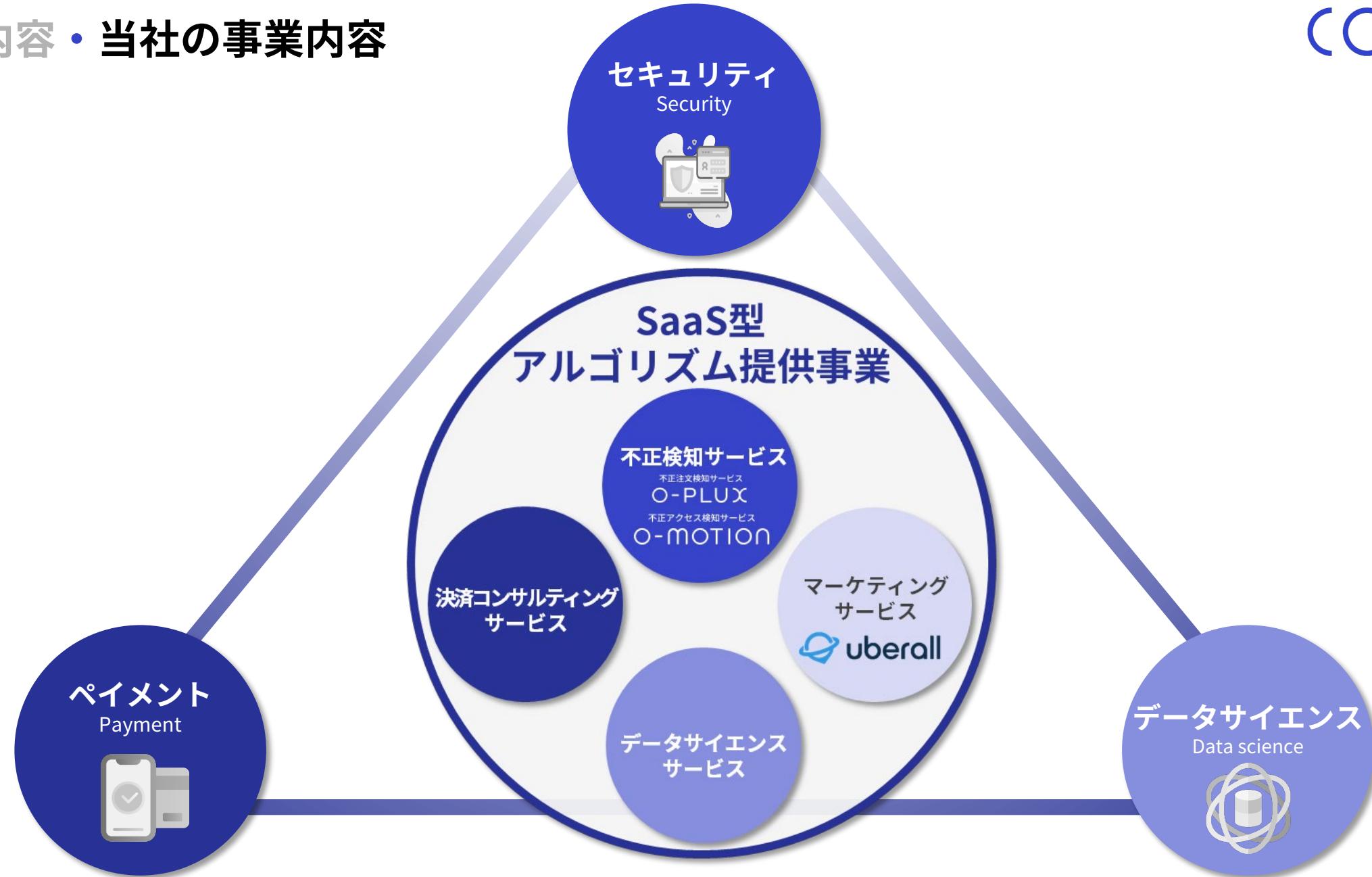
※BNPL : Buy Now Pay Laterの略。後払い決済のこと。

事業內容

Business Information



事業内容・当社の事業内容



事業内容・当社の主要サービス

セキュリティ・ペイメント・データサイエンスの技術・ノウハウを活用し、ゲームチェンジャーのさまざまなチャレンジを支援するSaaS型アルゴリズムを開発・提供。

不正検知サービス

不正注文検知サービス



EC決済、転売などにおける代金未払い等の不正注文をリアルタイムに検知。導入数国内No.1の実績^{※1}。



不正アクセス検知サービス



金融機関・会員サイト等における不正アクセス・不正ログインをリアルタイムに検知。

不正検知領域の特許を3件保有。

特許第6534255号

特許第6534256号

特許第6860156号

決済コンサルティングサービス

主にBNPL^{※2}事業者に向けて、決済システムの提供、BNPL事業のコンサルティングを実施。

審査エンジンは「O-PLUX」を使用。

SaaS型BNPLシステム

初期投資のかからないSaaS型で決済システムを提供することで、BNPL市場の更なる開拓を図る。(2022年下期リリース予定)

マーケティングサービス



店舗情報・口コミ情報を統合管理し、ローカル検索表示順位向上による来店数増加等をMEO対策を支援。

データサイエンスサービス

AI・統計・数理最適化の技術を用いたデータ解析及びアルゴリズムの開発・提供。

SAKIGAKE KPI

データの集計・可視化から、要因分析、KPI算出、分析報告とその後のご提案まで実施。1億レコードまで、30営業日・200万円で提供するデータ分析サービス。

※1 株式会社東京商工リサーチ「日本国内のECサイトにおける有償の不正検知サービス導入サイト件数調査」2021年5月末日時点
※2 BNPL : Buy Now Pay Laterの略。後払い決済のこと。

1

データサイエンスに関する知見とセキュリティ領域における高い技術

(取得特許3件：「特許第6534255号」 「特許第6534256号」 「特許第6860156号」)

2

EC領域とペイメント領域における当社サービス導入数国内No.1の実績

(株式会社東京商工リサーチ「日本国内のECサイトにおける有償の不正検知サービス導入サイト件数調査」2021年5月末日時点)

3

中核サービスであるO-PLUXの利用拡大によるストック収益の堅調な成長

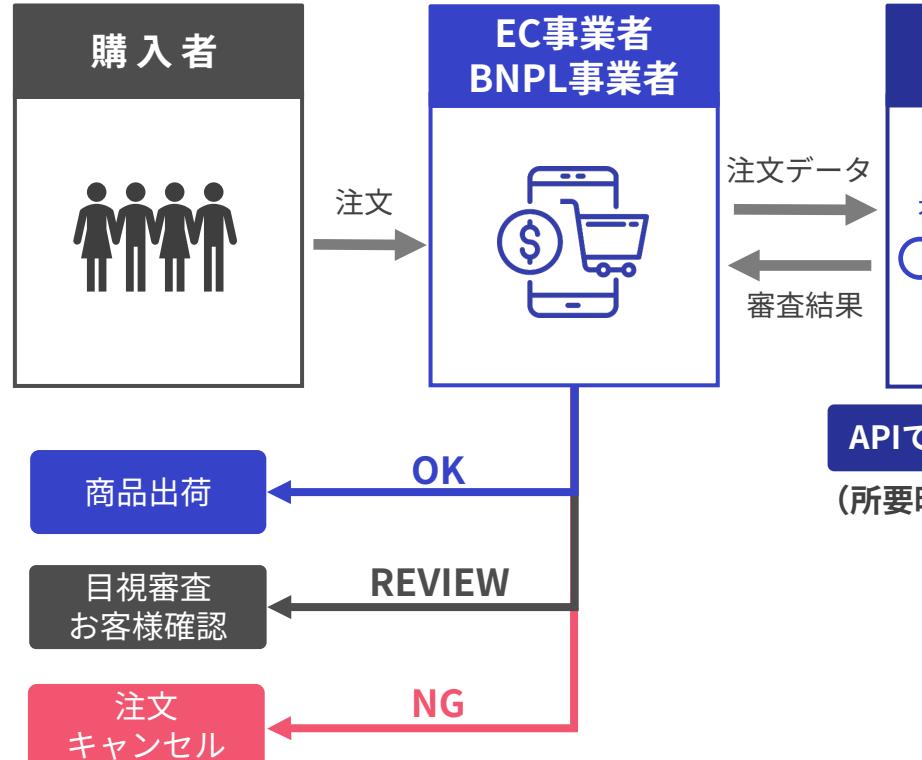
(FY2021の当社売上高全体に占めるストック収益の割合は72.5%)

事業内容・不正注文検知サービス「O-PLUX」の概要

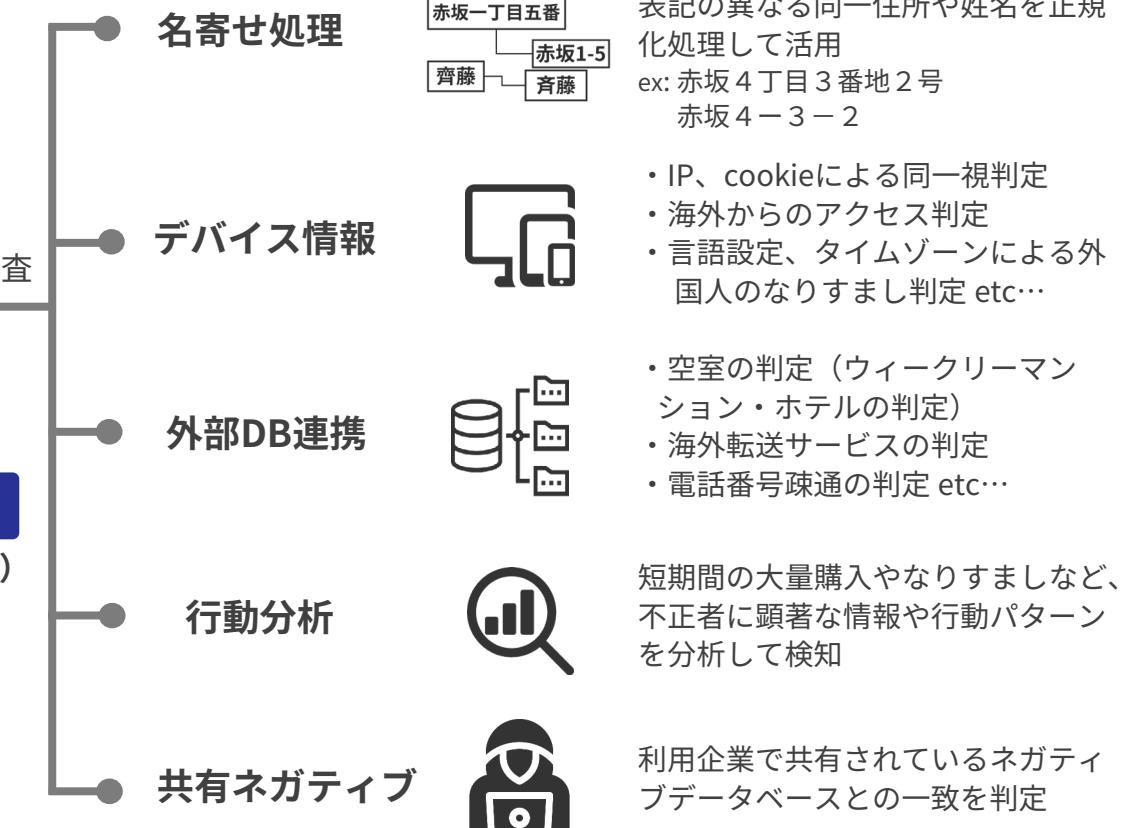


ECにおける代金未払い等の不正注文を独自の審査モデルでリアルタイムに検知するSaaS型サービス

審査の流れ



主な審査機能



事業内容・不正注文検知サービス「O-PLUX」| 差別化要因



製品における差別化要因

1

国内不正注文データの大量保有による
高い不正検知精度

2

データサイエンス・セキュリティの技術
とノウハウで独自の検知モデルを構築

3

国内製品・自社製品ならではのスピーディ
かつ柔軟なモニタリング&サポート体制

競合優位性が維持される好循環サイクル



導入が加速



※ 株式会社東京商工リサーチ「日本国内のECサイトにおける有償の不正検知サービス導入サイト件数調査」2021年5月末日時点

事業内容・不正注文検知サービス「O-PLUX」| 収益構造



従量課金と定額課金を合算したストック収益が、売上高全体の約7割を占める安定的な収益構造。さらに、従量課金により、EC市場・BNPL市場の拡大に伴うアップサイドポテンシャルを享受可能。

「O-PLUX」のストック収益が伸びる3つの要素



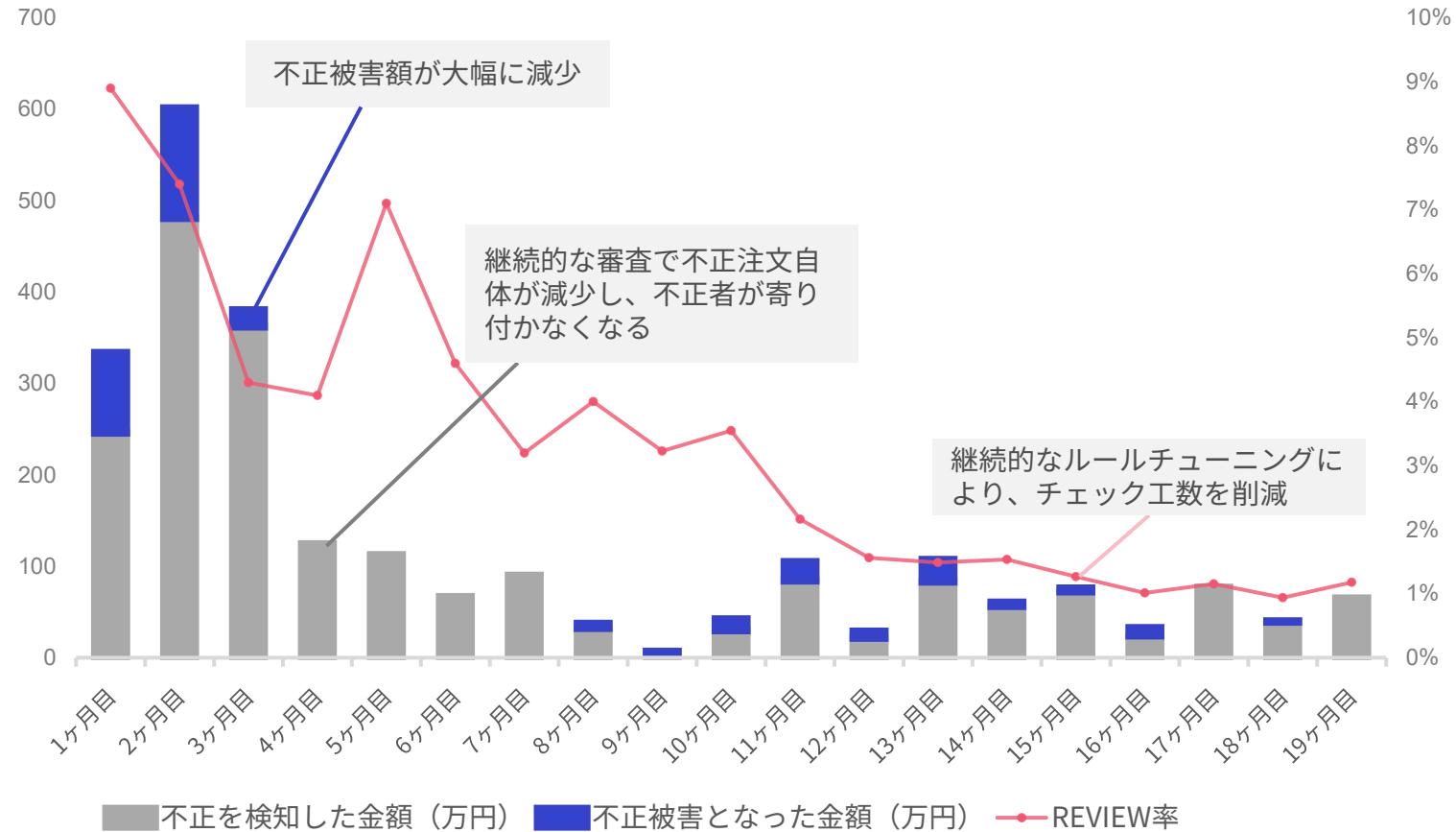
事業内容・不正注文検知サービス「O-PLUX」|導入事例

CACCO



「O-PLUX」によってECにおけるクレジットカードの不正利用を5年間累計で約2.5億円検知

総合小売業	
年間流通額	年間 70 億円
顧客の課題	ECにおけるクレジットカードの不正利用 (最大1,000万円/月)
成果	導入初年度 1億円の不正利用を検知 約5年間のご利用期間で累計 約2.5億円を検知



※不正を検知した金額とは、審査結果「NG」または審査結果「REVIEW」でカード属性の不一致、出荷前の本人確認等によりチャージバックとなる前に不正確定（ネガティブ登録）された取引の合計金額となります。

※REVIEW率とは、審査件数全体に対する審査結果「REVIEW」の件数の割合となります。

事業内容・不正注文検知サービス「O-PLUX」|導入企業

CACCO



「O-PLUX」は、様々な業界に導入が進んでおり国内導入数No.1を獲得※1。
不正注文被害を未然に防ぐことで、電子商取引（eコマース）の安全なインフラ構築を推進。



ホビー



食品・健康食品



コスメ・ヘアケア



アパレル



ホスティング



DIY



旅行



映像・音響機器

ネットショッピングモール・MVNO・その他



※1 株式会社東京商工リサーチ「日本国内のECサイトにおける有償の不正検知サービス導入サイト件数調査」2021年5月末日時点

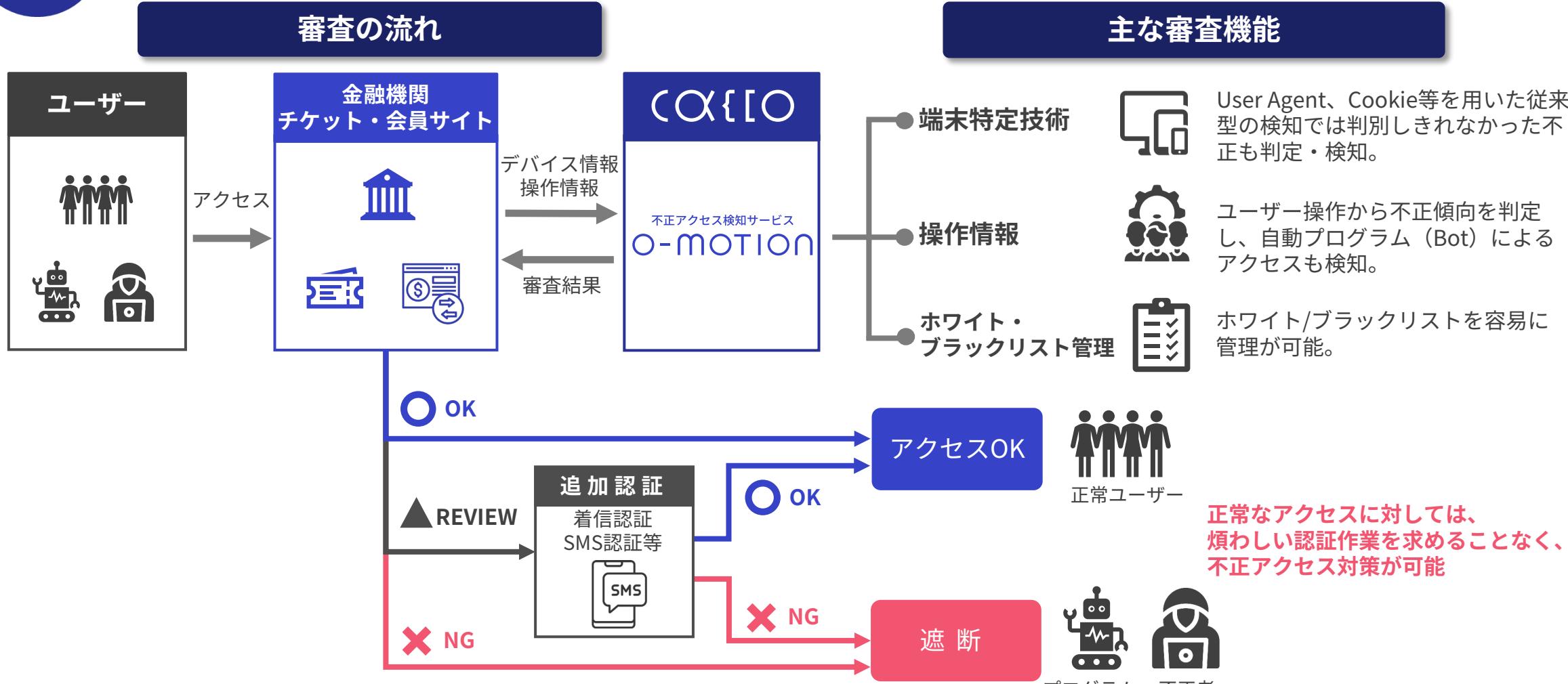
※2 掲載許諾を得た一部の企業のみ掲載 2022年1月末日時点

事業内容・不正アクセス検知サービス「O-MOTION」

CACCO



WEBサイトにアクセスしたユーザーの操作情報、デバイス情報等をリアルタイムに分析。
他人のなりすましを識別し、不正アクセスから生じる不正行為(個人情報漏洩・不正購入etc.)を防止。



事業内容・顧客ニーズに柔軟に対応した不正検知サービスのラインアップ

CACCO

アーキテクチャ刷新を活かした新規ラインアップを投入することで、潜在顧客のニーズに柔軟に対応し、新規顧客層の開拓・シェア拡大を図る。

不正チェッカー



「O-PLUX」の一部機能を**業界最安値**
※1で提供。未だ小規模のネット通販事業者、現状大きな被害が発生しておらず、今後の被害拡大への備えを必要としている事業者向け。

月額基本料金
4,000円～

(1,000件分の審査費用を含む)

O-MOTION Light



自動プログラム（Bot）による総当たり攻撃や他人のID・パスワードを使った不正者のなりすましを検知。

月額基本料金
10万円～

(アクセス数の上限あり)

O-PLUX Premium Plus



クレジットカードの不正利用被害が発生した場合、**上限なしでその被害額を補償**。（出荷判断代行サービス）

月額基本料金
10万円～

※1 2022年1月末日時点当社調べ

事業内容・パートナー・アライアンス提携企業

今後もパートナー契約・アライアンス提携を進め、導入障壁の解消、販路拡大によりシェア拡大を図る。

ECパッケージ・ショッピングカート

GMO クラウドEC
パッケージEC



売れる
ネット広告
つくーる

ebisumart

リピート PLUS
Powered by w2 Commerce

ecforce

カード会社

UC CARD



Salesforce
Commerce Cloud



eltex DC Direct Commerce
EC / 通販統合パッケージ

サブスクストア
たまごリピート

MUFG 三菱UFJニコス

決済代行会社 (PSP)

SB Payment Service



SBI ZEUS
GROUP Payment Service



UNIVA PAYCAST

DGFT
DG Financial Technology

セキュリティサービスベンダー



eltes

※1 EC-CUBEは株式会社イーシーキューブの商標です。

※2 2022年3月31日時点。

事業内容・マーケティングサービス「 **uberall**」



MEO対策・ローカル検索最適化ソリューション「Uberall」の日本総括代理店である株式会社リカバリーと資本業務提携（2021年8月）。マーケティング領域のSaaS事業へ参入。

MEOに必要な管理はすべて「Uberall」で — 世界135万以上の店舗が利用中 —

uberall (ウーバーオール)

Googleビジネスプロフィールだけでなく、Facebook・Instagramなど125以上のメディア、自社サイトまですべての店舗情報を一括管理できるクラウドシステム。

135万店舗で利用

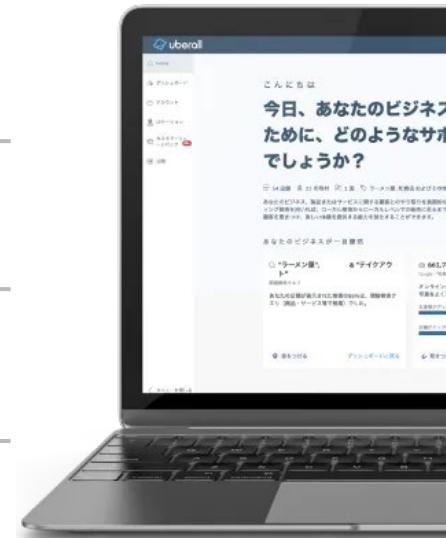
世界中の飲食店・小売店が利用！

125超のSNSやMAP

などのプラットフォームと連携！

Google推奨パートナー

だから全ての最新機能を活用可能！



※上記各数値は、株式会社リカバリーから提供されたデータに基づいております。



全ての店舗情報を一元管理

全てのメディアの店舗情報を一元管理出来る為、大幅に作業を効率化。



サイテーション効果抜群

多くのSNSメディアと店舗情報が同期され、表示順位の向上が見込める。



クチコミ把握、返信が簡単

全てのクチコミを把握でき、効率的に返信対応が可能。



自社サイトも管理・対策可能

自社サイトも一元管理。構造化データの自動生成で上位表示にも効果。



徹底的に伴走します

世界標準のMEOメソッドを提供することで、自社運用をバックアップ。

事業内容・決済コンサルティングサービス



BNPLの構築・立上げについて、サービス構築、決済システム開発、運用サポートまでワンストップで支援。
審査エンジンは不正注文検知サービス「O-PLUX」を提供。



Point
1

複数のBNPL事業の立ち上げ・システム開発の実績

- ・月間取引件数が数百万件規模の決済システムに関する構築実績
- ・BNPL事業立ち上げのサポート実績（事業計画、各種要件定義作成など）
- ・事業開始後のサポート実績（与信、運用構築など）

Point
2

BNPLの運用経験があるコンサルタントによるサポート

BNPLの運用経験豊富なコンサルタントが、お客様の視点に立って最適な提案を実施。

Point
3

国内導入数No.1※の「O-PLUX」による不正注文検知

当社は、シビアな精度が求められる金融・決済分野で不正検知の実績をあげてきました。不正注文検知サービス「O-PLUX」は国内導入数No.1※を獲得しています。



※2021年5月末日時点 (株式会社東京商エリサーチ「日本国内のECサイトにおける有償の不正検知サービス導入サイト件数調査」)

AI・統計学・数理最適化の技術をもとに、予測のモデル化や機械学習を適用した自動化など、企業活動の中核に貢献するアルゴリズムを開発・提供。

Our approach

SAKIGAKE KPI



データの集計・可視化から、要因分析、KPI算出、分析報告とその後のご提案まで実施。1億レコードまで、30営業日・200万円で提供するデータ分析サービス。

データサイエンス分室



あたかも自社の一部門の様に、データサイエンス資源を月額契約で活用可能。様々なステージの、あらゆる分析ニーズに応える「データサイエンス分室」構想を実現。

アルゴリズムの開発



人間の経験を超える最適化や、自動処理による生産性向上、需要やリスクの予測など、業務の処理において利益拡大を追求するアルゴリズムの開発。

Case studies

最適化

年商1,190億円の壁材メーカー

1700の製品・12の生産ラインにおける生産計画作成。複雑な条件を守りながら、生産量の最大化や、ロスを最小化する生産順を計画。



年間最大1.3億円コスト削減

統計

AI

年商55億円の文具メーカー

カレンダー、手帳、文具類で利益を最大化できる需要予測と、生産指示のためのアルゴリズム開発。欠品による機会損失を最小化。



販売機会損失70%削減

最適化

コールセンター

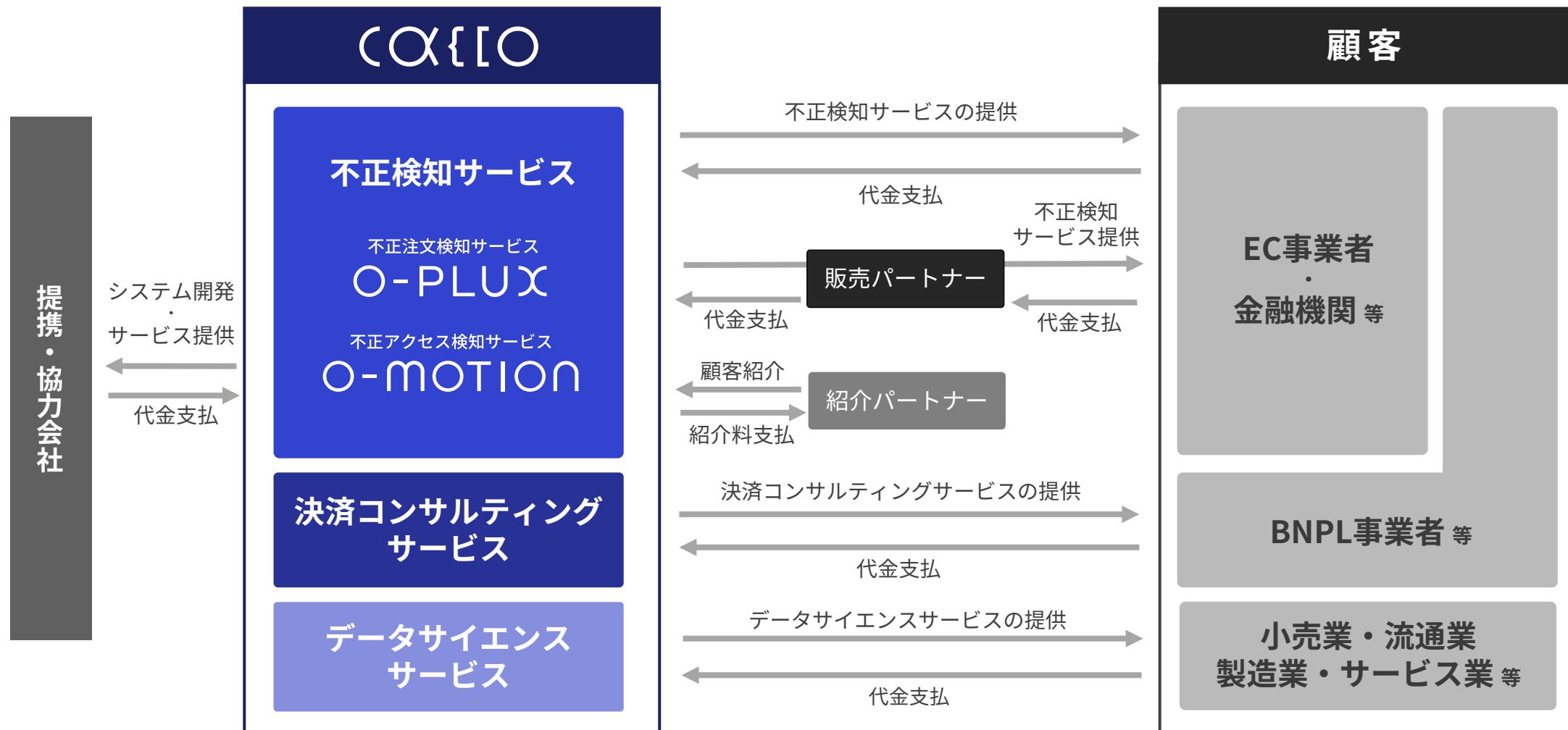
翌月の日・時間帯単位での需要を予測し、経営指標、従業員の勤務希望、労働条件といった複数の制約を満たす人員配置計画を自動生成。

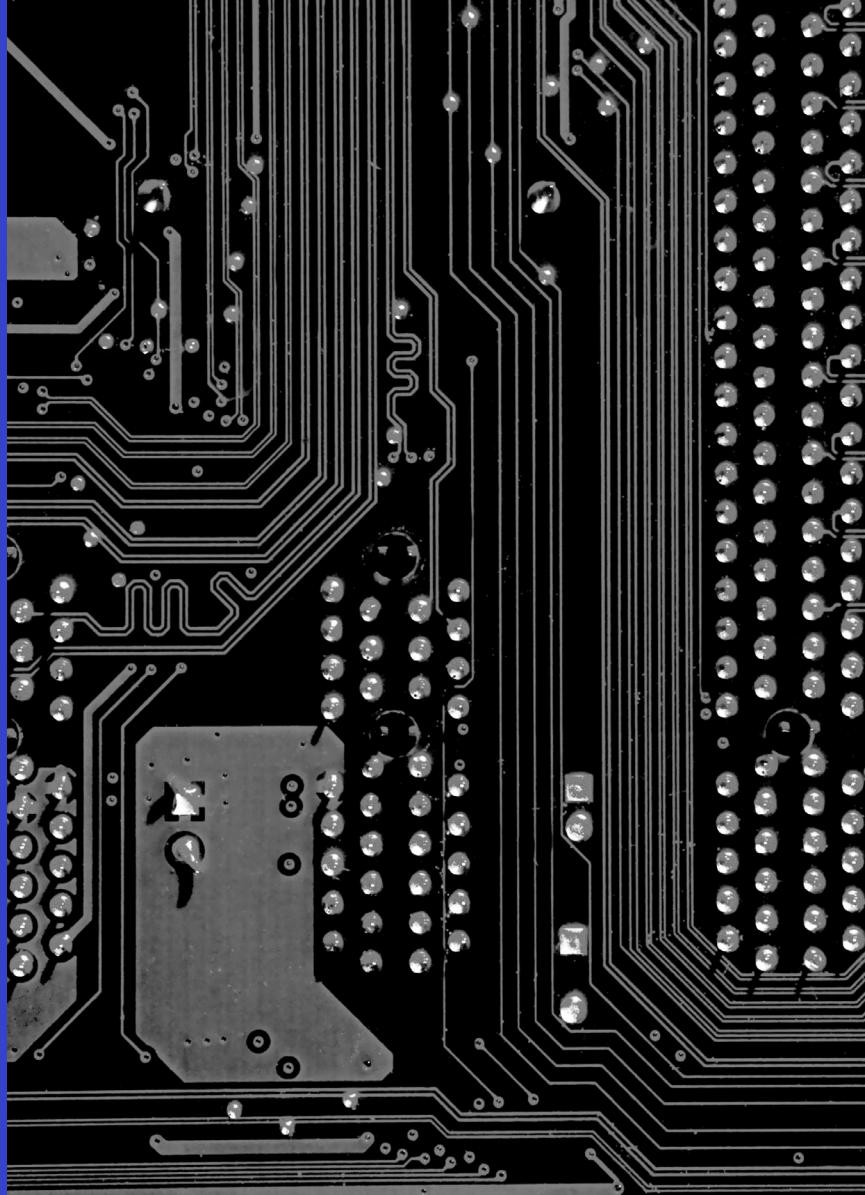


年間0.6億円コスト削減

事業内容・当社のビジネスの商流

CACCO





事業の進捗及び計画

Business progress and forecast

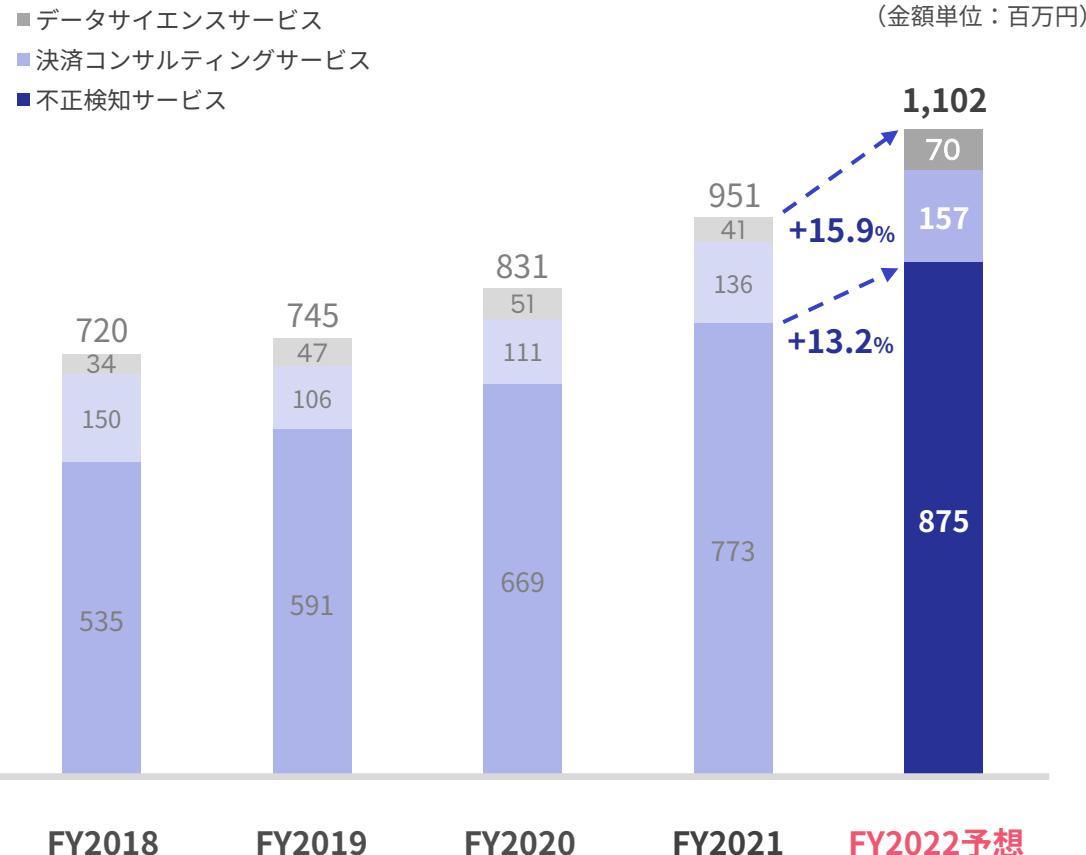
事業の進捗及び計画・売上高・「O-PLUX」ストック収益の推移



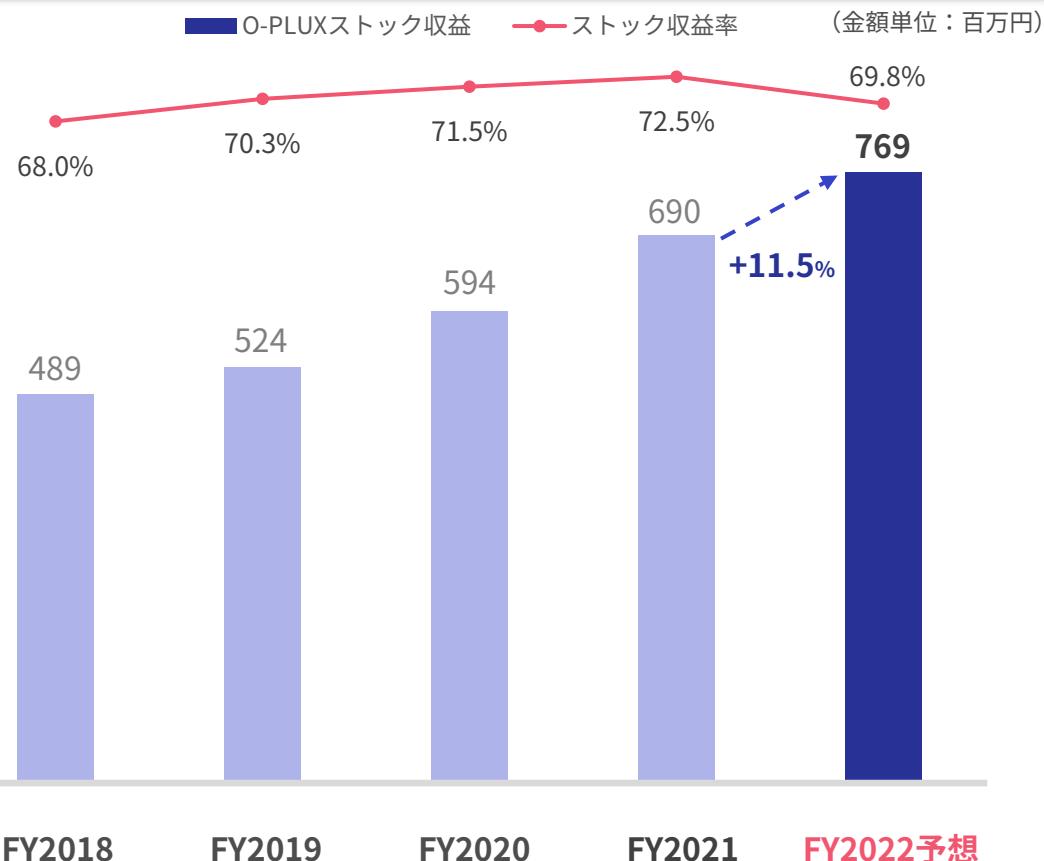
中核の不正検知サービスは前期比+15.9%、売上高全体は前期比+13.2%の増収を見込む。

- 「不正チェックカー」等の新ラインナップの拡販・アライアンスによる販路拡大等により、「O-PLUX」のストック収益は前期比+11.5%の成長を見込む。

売上高推移



「O-PLUX」ストック収益推移



※O-PLUXストック収益=定額課金である月額料金+審査件数に応じた従量課金である審査料金（初期導入料金等のスポット収益は含まれておりません）

※ストック収益率=O-PLUXストック収益÷売上高（全サービス合計）

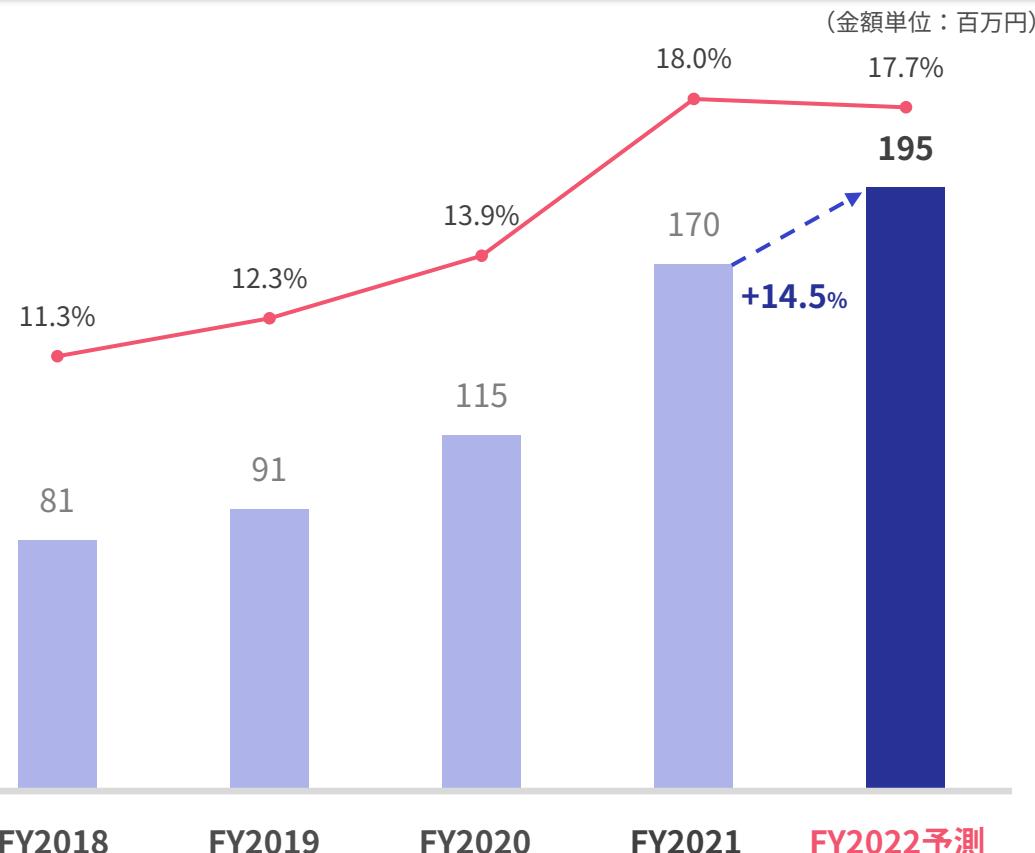
事業の進捗及び計画・経常利益・当期純利益の推移



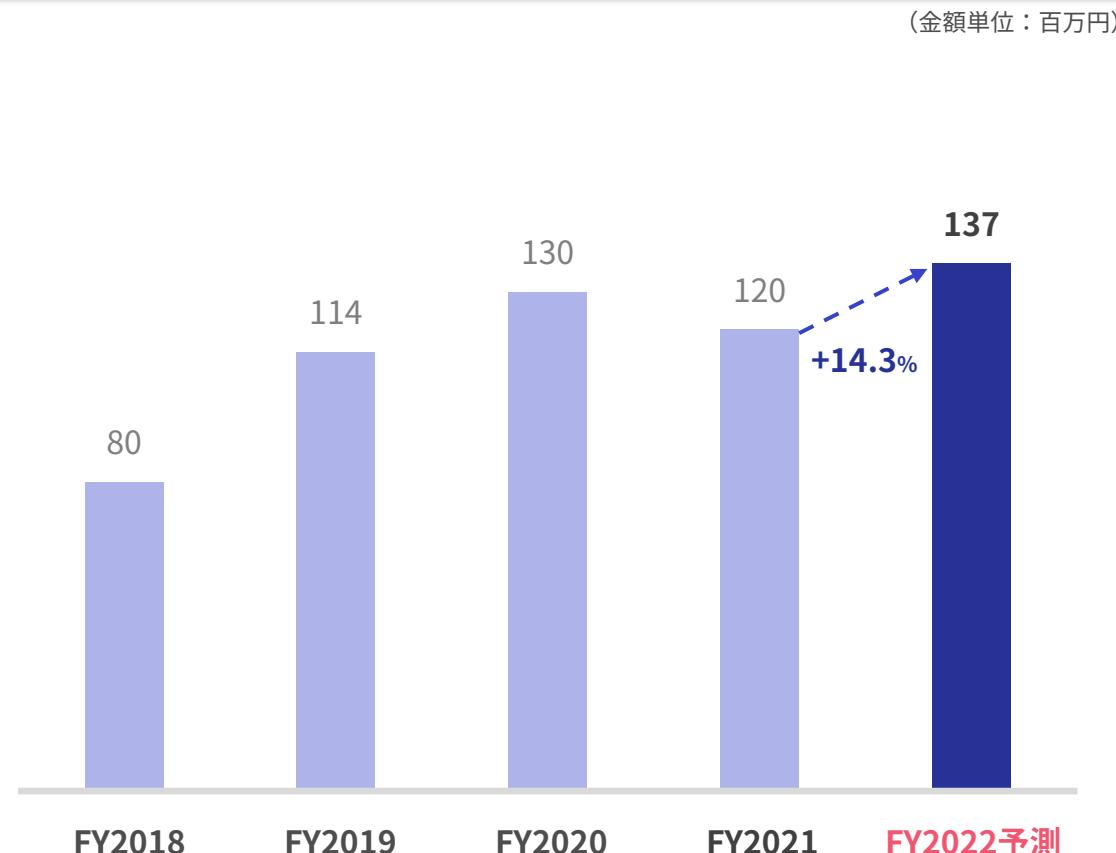
経常利益は前期比+14.5%、当期純利益は前期比+14.3%の増益を見込む。

- O-PLUXアーキテクチャ刷新・SaaS型BNPLシステム開発に係る減価償却費の増加等により利益率は若干低下するものの、収益拡大により増益を見込む。

経常利益



当期純利益



事業の進捗及び計画・PLサマリー



	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022 予想	前年比
売 上 高	720	745	831	951	1,102	+15.9%
(O-PLUXのストック収益)	489	524	594	690	769	+11.5%
売 上 総 利 益	460	497	587	690	754	+9.2%
(売 上 総 利 益 率)	64.0%	66.7%	70.7%	72.6%	68.5%	▲4.2%
営 業 利 益	82	99	138	178	191	+7.1%
(営 業 利 益 率)	11.5%	13.3%	16.6%	18.8%	17.4%	▲1.4%
経 常 利 益	81	91	115	170	195	+14.5%
当 期 純 利 益	80	114	130	120	137	+14.3%

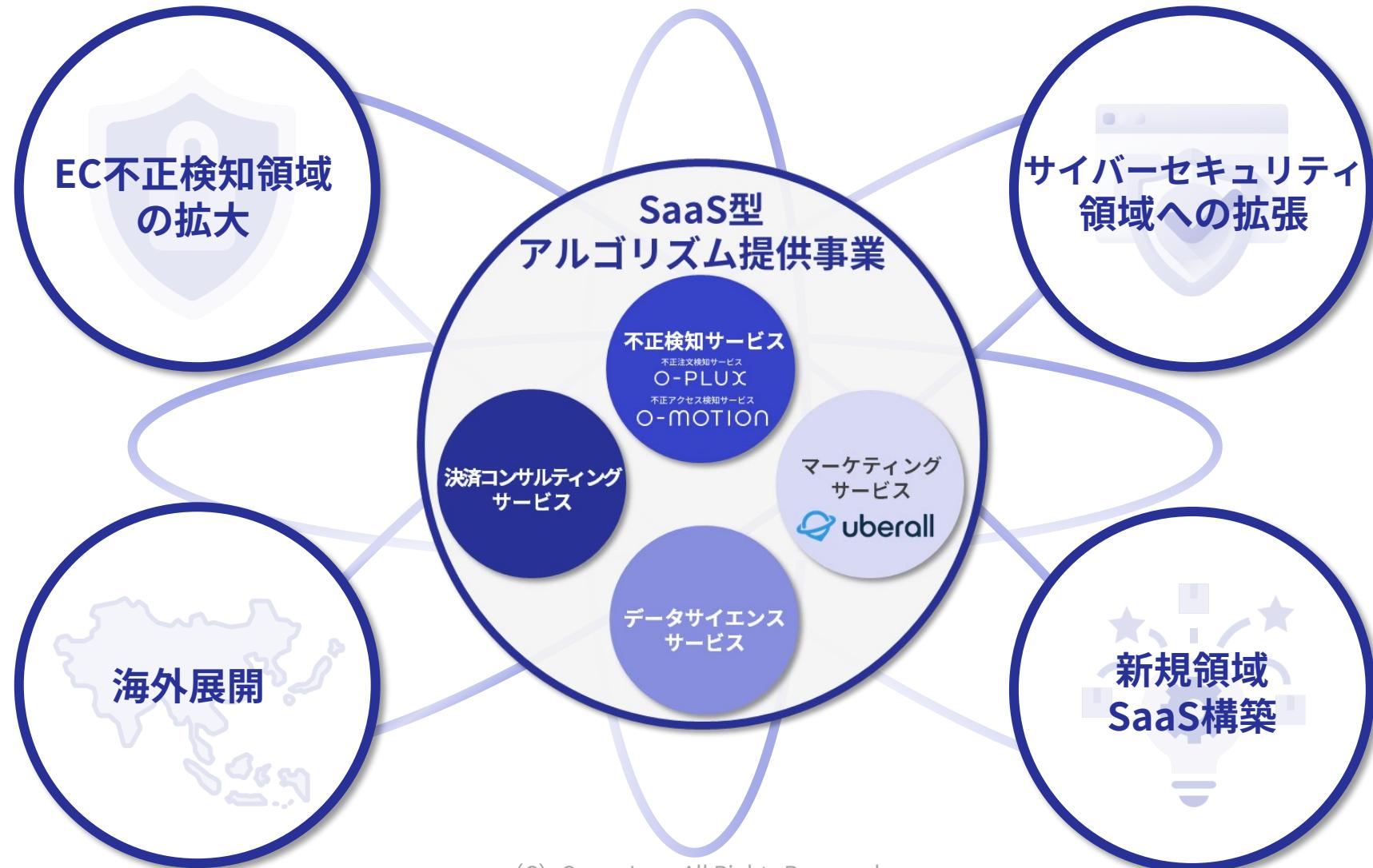


中長期の成長戦略

Mid-term Growth Strategy

中長期の成長戦略・事業拡大に向けた4つの成長戦略

4つの成長戦略により、不正検知サービスを中心に事業拡大を加速し、**自ら市場を創出**する。



中長期の成長戦略・EC注文検知領域の拡大 –不正注文検知サービス「O-PLUX」の成長戦略–



今後、不正被害の社会問題化や規制強化等により、不正検知の需要は確実に拡大するものと想定。3つの戦略により「O-PLUX」の更なる成長を図る。

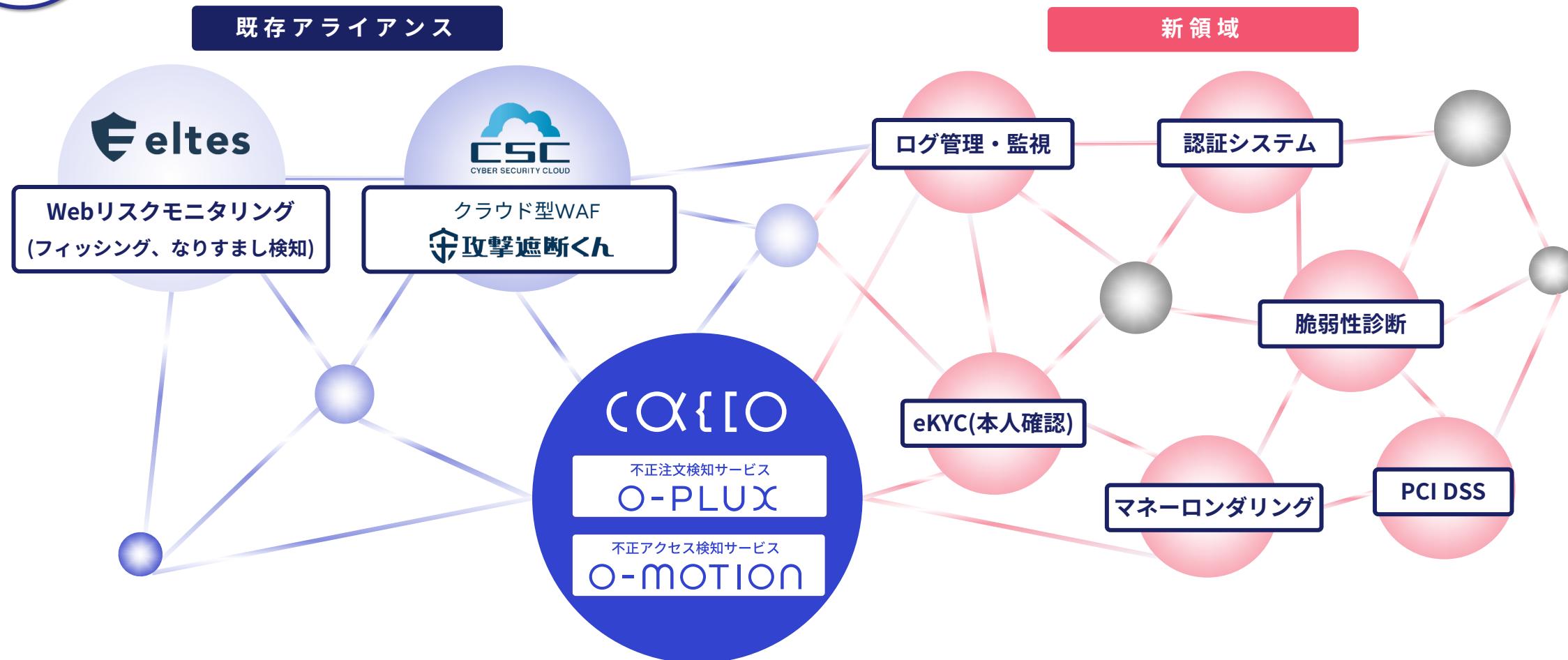


中長期の成長戦略・サイバーセキュリティ領域への拡張

CACCO



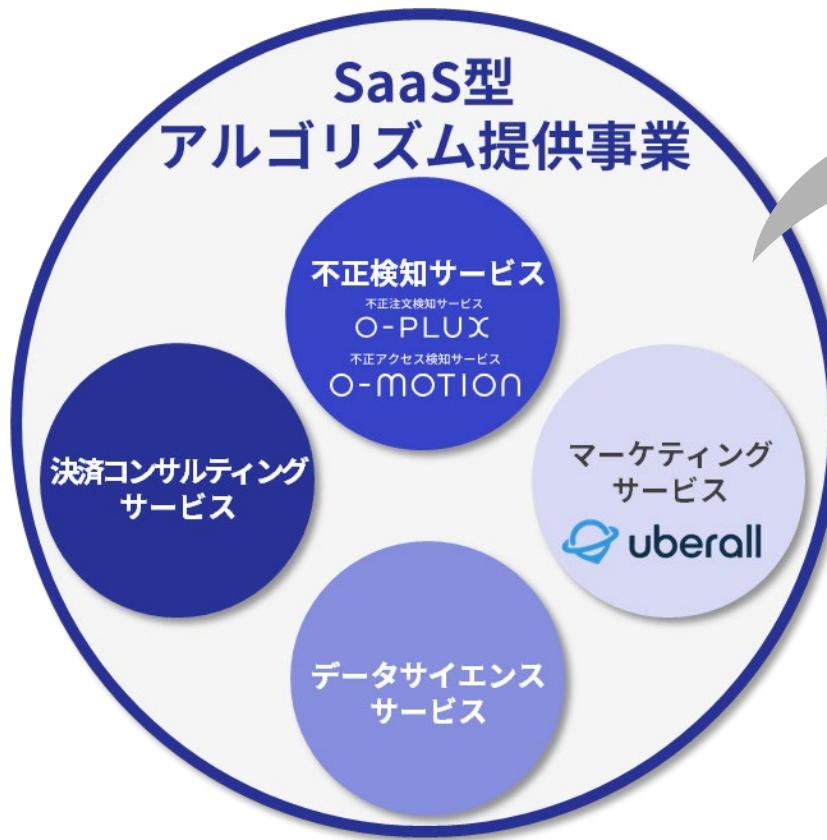
FY2021はサイバーセキュリティクラウド社、エルテス社と提携。
技術開発とともにM&A・アライアンスも視野に入れ、サイバーセキュリティ領域への事業拡張を進める。



中長期の成長戦略・海外展開



これまで培ってきた当社のサービス・ノウハウを活用し、東南アジアのEC・金融領域に展開を図る。
- 繙続的に調査を実施しており、現時点で下記4分野のマーケットについて参入を検討。

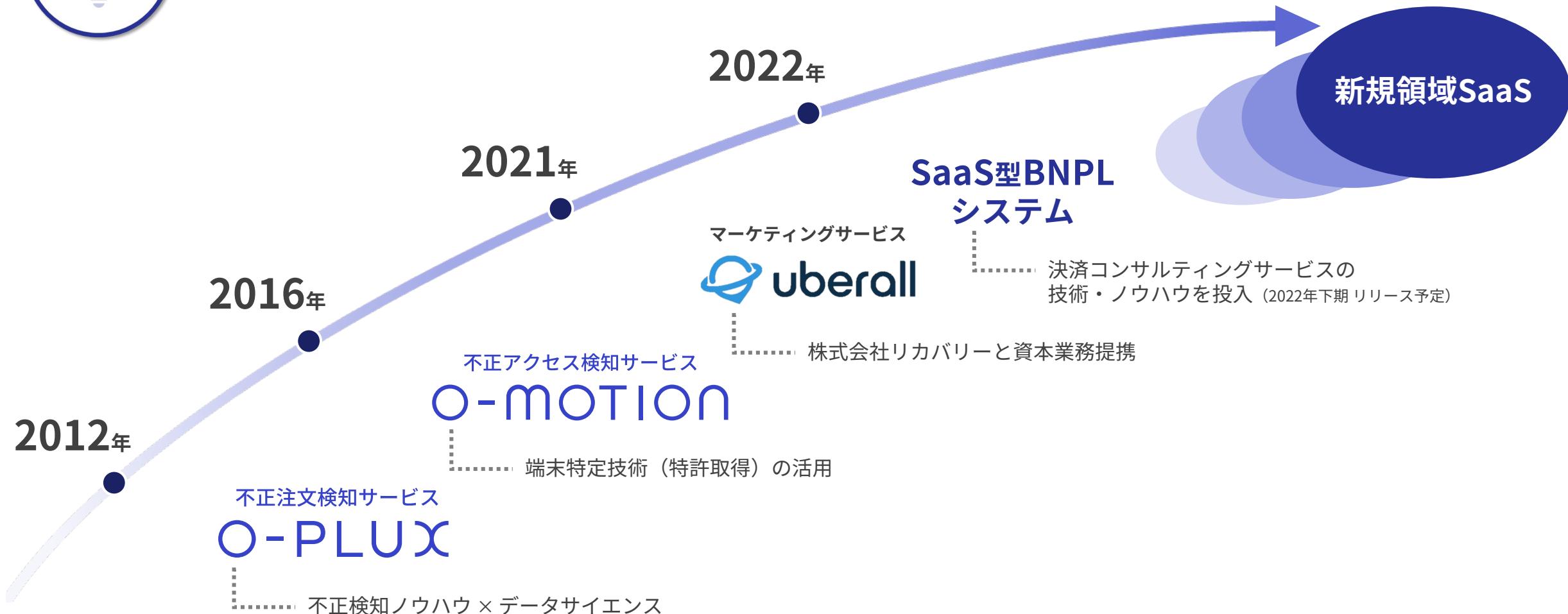


※ 前回開示の3分野は上記4分野に重複・包含されております。（「eコマース市場」は重複、「マイクロファイナンス」「不動産・自動車担保ローン」は「ローン・ファンディング」に包含。）

中長期の成長戦略・新規領域のSaaS型サービスの構築



データサイエンスをベースに多様な分野のノウハウを蓄積するとともに、M&A・アライアンスも視野に入れ、新規領域のSaaS型サービスの構築を図る。



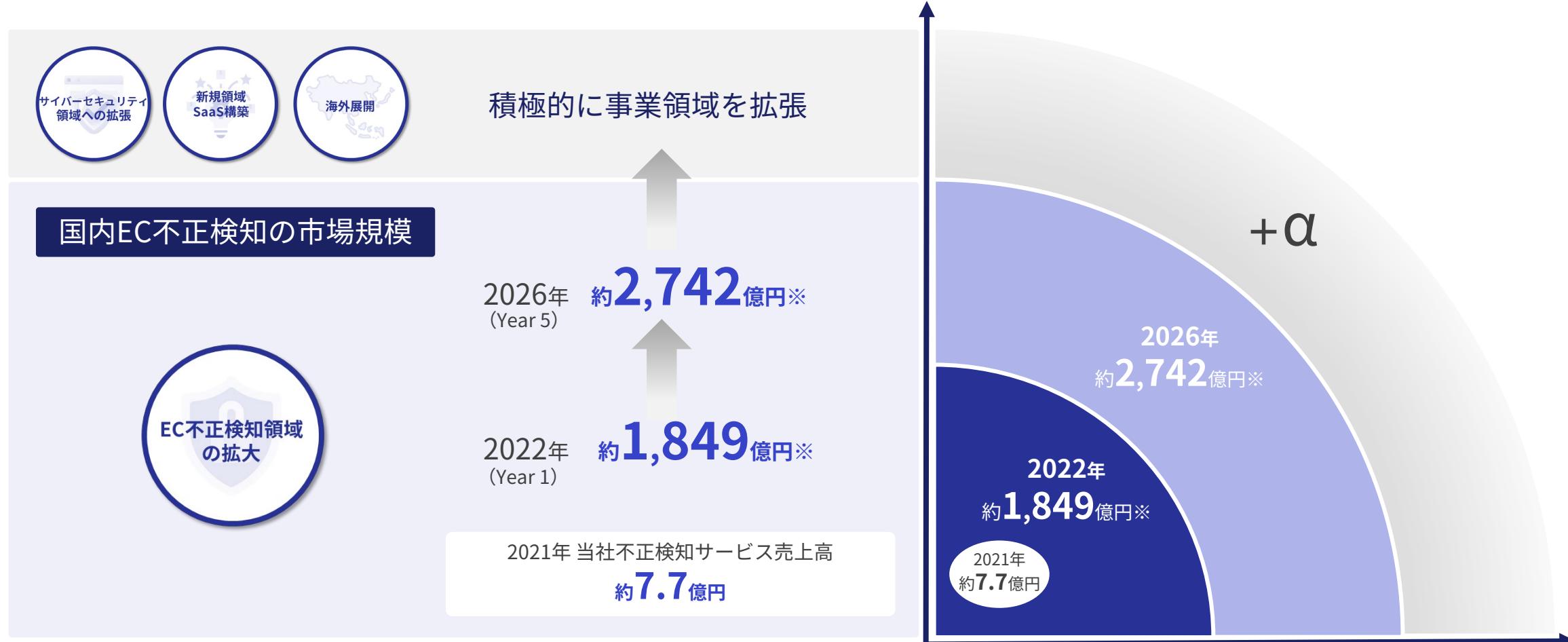


当社事業が属する市場の成長

Market

当社事業が属する市場の成長・市場規模

拡大が見込まれる国内EC不正検知領域を主軸としながら、積極的に事業領域を拡張していくことで、更に大きな市場で事業を展開していく。



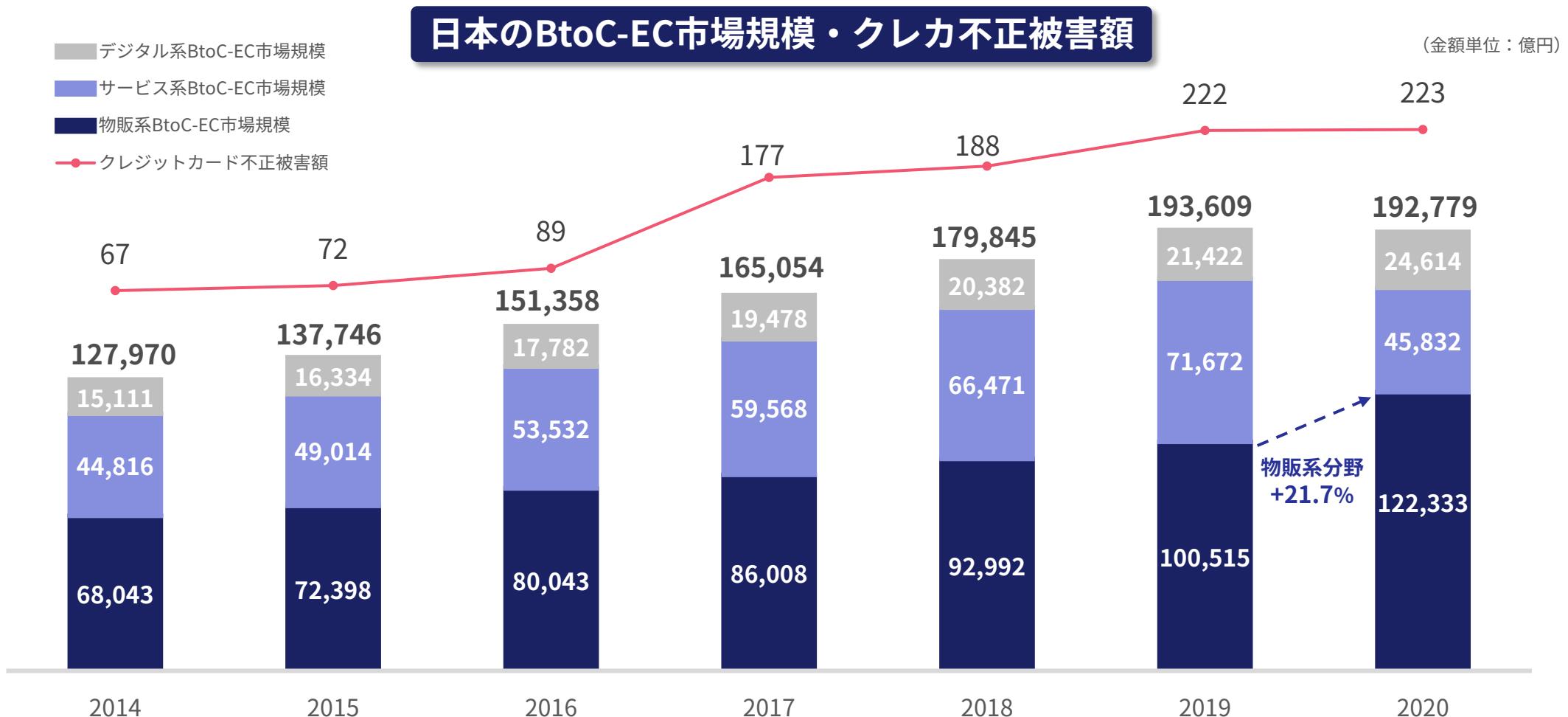
※ 出典：「FRAUD DETECTION AND PREVENTION Global Market Trajectory & Analytics GLOBAL INDUSTRY ANALYSTS, INC. 2021年5月」（1ドル=110円で計算）

当社事業が属する市場の成長・日本のEC市場の成長と不正被害の拡大



EC市場の成長に比例してクレジットカードの不正被害（番号盗用被害）が拡大。

- 割賦販売法改正、クレジットカードセキュリティ・ガイドラインのアップデート等、不正対策に対する社会的需要が高まっている。



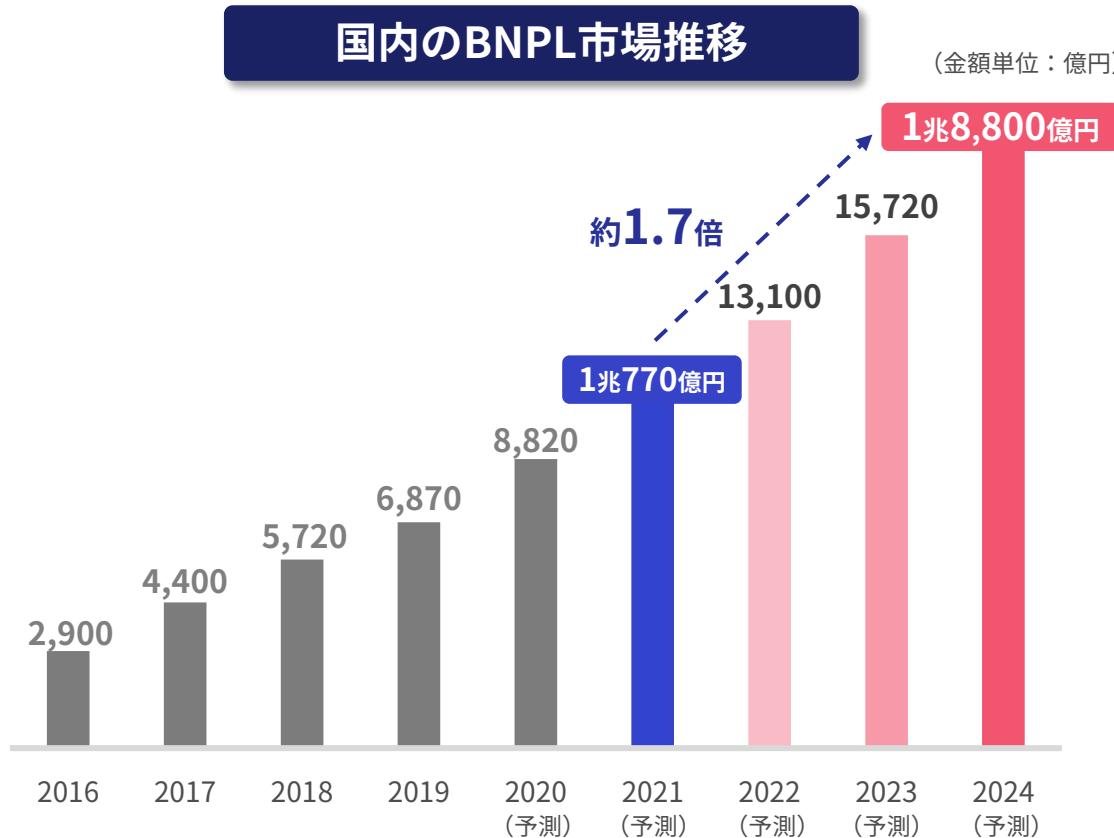
出典：経済産業省 商務情報政策局 情報経済課「令和2年度産業経済研究委託事業（電子商取引に関する市場調査）報告書」

一般社団法人日本クレジット協会「クレジットカード不正利用被害の発生状況」2021年6月

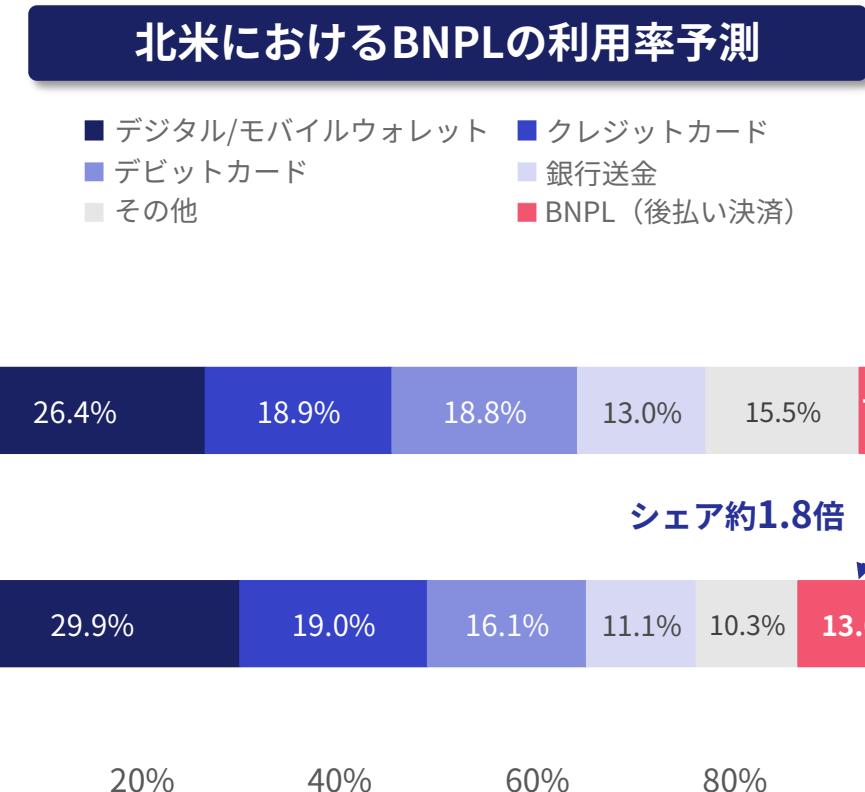
(C) Cacco Inc. All Rights Reserved.

当社事業が属する市場の成長・BNPL市場の拡大

BNPL市場は、国内外で持続的に成長しており、今後も更なる利用拡大が見込まれる。



出典：矢野経済研究所「オンライン決済サービスプロバイダーの現状と将来予測 2021年版」



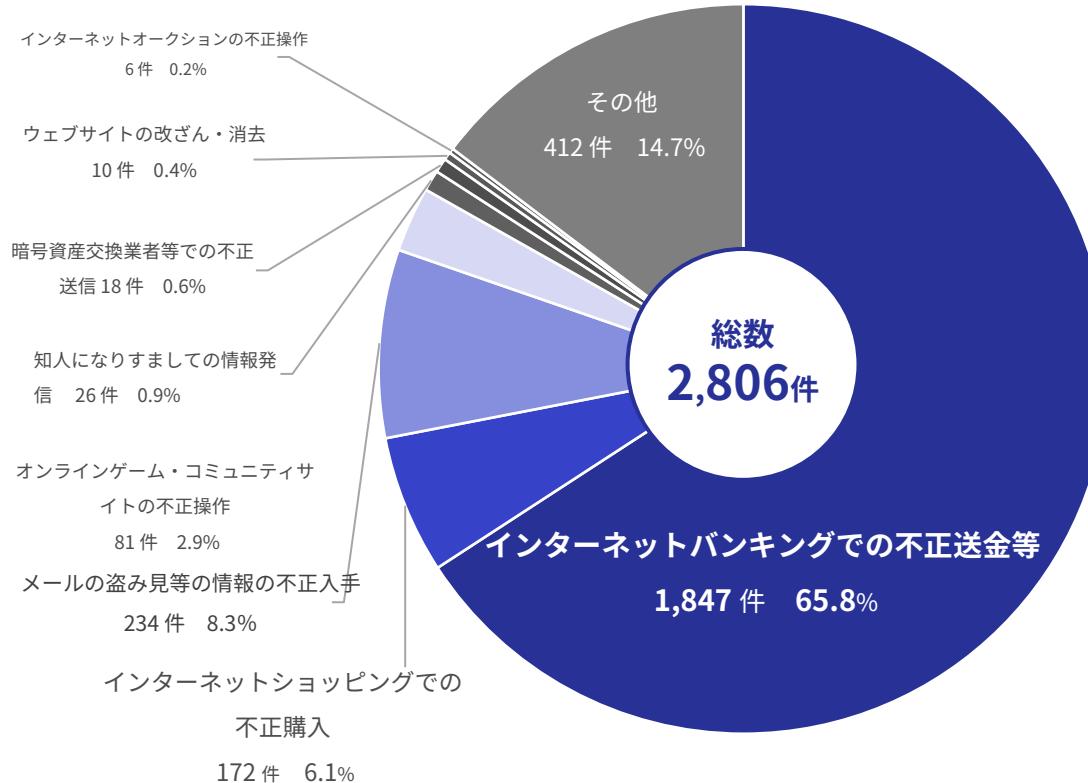
出典：Worldpay 「Global Payment Report2021」

当社事業が属する市場の成長・日本の不正アクセス被害の増加



不正アクセス後に行われる不正行為の7割以上が金融サービス・ECでの不正。
また、不正アクセスによる個人情報漏えい等の情報流出被害も後を絶たない状況。

不正アクセス後に行われた行為（2020年）



不正アクセスによる被害の事例（2021年一部）

被害発生時期	被 告 先	被 告 内 容
2021年12月	福祉関連団体	サイバー攻撃が発生し、同団体から書籍を購入したユーザー や会員登録したユーザーのメールアドレス4万1,970件が流出。
2021年12月	医薬品開発企業	サイバー攻撃により採用応募者や株主情報等約96,000件、社員情報・人事情報約125,000件および臨床試験関連文章や営業データなどの流出した可能性。
2021年10月	暗号資産取引サービス企業	フィッシング詐欺により、取引所を利用するユーザー6,000名のアカウントが攻撃され不正出金される。
2021年8月	大手EC情報サイト	情報サイトに登録している読者、サービス契約事業者情報1万3,756件が流出。
2021年7月	ドラッグストアECサイト	不正アクセスにより、クレジットカード情報2万5千件以上が流出した可能性。
2021年7月	大手物流企業	不正アクセスにより、800万件以上の個人情報が流出した可能性。
2021年6月	大手新聞社	キャンペーンサイトに不正アクセスがあり、14万3千件の個人情報が流出した可能性。
2021年6月	大手通信機器会社会員サイト	不正アクセスを受け、40万5,576件が流出した。
2021年3月	大手アパレルECサイト	不正アクセスにより、30万件以上の個人情報が流出の可能性。



主な事業リスクと対応策

Major business risks and countermeasures

主な事業リスクと対応策

成長の実現や事業計画の遂行に影響する主要なリスクは以下の通り。

-その他のリスクにつきましては、2021年12月期 有価証券報告書に記載の「事業等のリスク」をご参照ください。

主要なリスク	リスクの概要	発生可能性	影響度	対応策
競合について	当社の主たる事業領域である、EC市場、セキュリティ市場、及びデータサイエンス市場において、今後多くの企業の参入が見込まれ、競合サービスが増加する可能性があります。	高	中	当社は、付加価値向上を図るべく積極的にサービス開発投資を推進し、今後の成長性及び競争優位性の維持・向上に努めるとともに、アライアンス・M&Aの推進等により、既存事業の拡充、関連技術の獲得等を図ってまいります。
システム障害について	サービスの基盤をインターネットに依存しているため、システム障害の発生やサイバー攻撃によるシステムダウン等大規模なシステム障害が発生した場合には、サービスの提供に支障をきたす可能性があります。	中	中	当社では、情報セキュリティマネジメントシステム認証を取得し、リスクマネジメントに努め、また、システム障害の発生やサイバー攻撃によるシステムダウン等を回避すべく、サーバー設備の強化や稼働状況の監視等により未然防止策を実施しております。
個人情報保護法による規制について	個人情報の外部流出もしくは悪用される事態が発生した場合には、当社が法的責任を追及されるほか、当社及び当社サービスの信頼性やブランドが毀損する可能性があります。	低	高	当社は、不正検知サービスの審査データについて、利用企業におけるハッシュ化（※）等の処理の結果、特定の個人が識別されることのない態様により受領しております。また、一般財団法人日本情報経済社会推進協会が発行するプライバシーマークを取得しております。
特定の市場・取引先への依存について	当社の主要取引先上位3社（売上高全体の58.7%）はいずれもBNPL事業者であり、それら取引先の経営方針の変更、契約条件の変更等があった場合は、当社業績に影響を及ぼす可能性があります。	低	高	長期契約締結等により主要取引先の利用継続に取り組むとともに、EC不正検知領域の拡大、サイバーセキュリティ領域への拡張、海外展開、新規領域のSaaS型サービスの構築等により、既存事業の更なる成長、事業領域の拡大及び新たな収益機会の獲得に努めてまいります。

※ ハッシュ化・・・元のデータから一定の計算手順に従ってハッシュ値と呼ばれる規則性のない固定長の値を求め、そのによって元のデータを置き換えること。

本資料の作成について、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。

当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズの変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。

なお、本資料の次回アップデートは、2023年3月を予定しております。

お問合せ・個別取材のお申込みは、下記よりIR担当までご連絡ください。

E-mail : ir@cacco.co.jp

IRサイト : <https://cacco.co.jp/ir/>

Cα{[O

未来のゲームチェンジャーの
「まずやってみよう」をカタチに